

# 上伊那特定植物（オオキンケイギク、フサフジウツギ、セイタカアワダチソウ）分布について

郷土研究部専門委員会植物班

宇治田彩子 伊東美水 玉垣政博

山崎 千夏 小池 創 西村新介

## 1. 調査地および調査方法

調査地は、上伊那全域の河川周辺を中心とし、班員で分担した。

◇分担地域

玉垣:飯島・駒ヶ根

西村:東春近・西春近

小池:西町・大坊・東春近・富県・新山

山崎:西箕輪・南箕輪

伊東:西箕輪・東箕輪

宇治田:伊那市内・高遠・長谷

◇調査方法

① 3種類の植物の花期に合わせて調査した。

5～7月:オオキンケイギク 7～8月(夏休み中):フサフジウツギ 10～11月:セイタカアワダチソウ

② 「自然環境保全基礎調査用メッシュ地形図」(国土地理院発行)を使って分布していた場所を記録した。

③ メッシュ番号を入力した Excel シートを作成し、分布が確認できたところは黄色、確認できなかったところは灰色、未調査のところは色なしで表した。また、お互いの分担地域の境目を確認しながら、それぞれの河川全域の分布が完成できるように、1枚の Excel シートで共同編集をした。

④ 各調査地でそれぞれの植物が分布している様子を撮影しておき、分布図と分布状況を考察した。



<調査の様子>

## 2. 調査時期

2022(令和4)年5月～11月

## 3. 結果

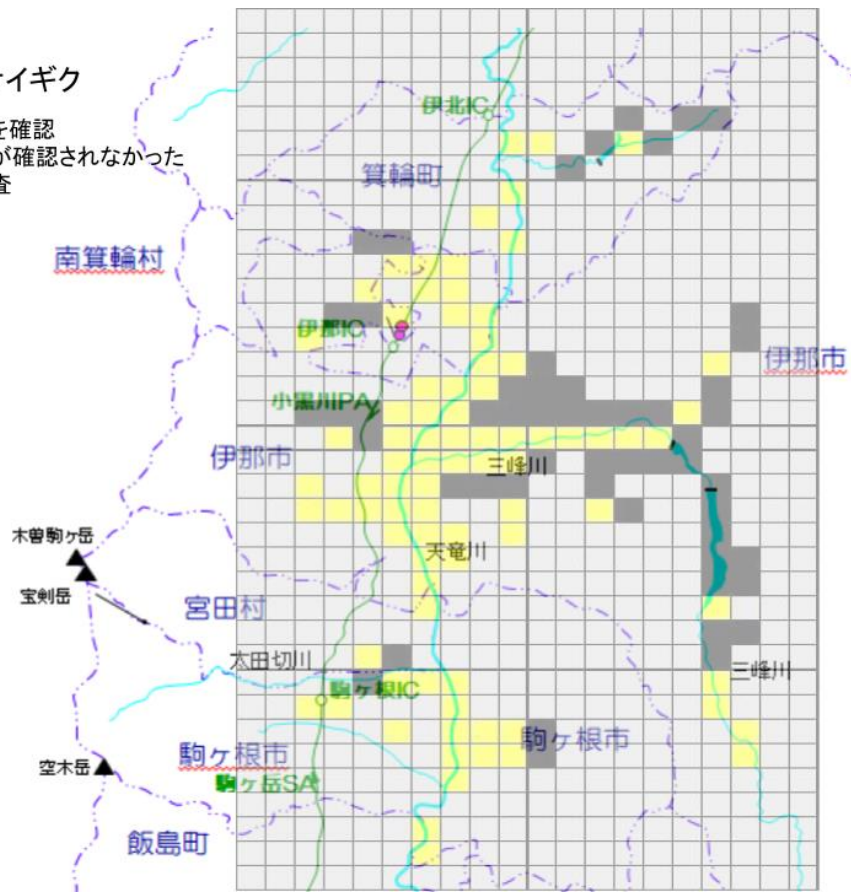
## (1) オオキンケイギク(キク科)

水系	川名	地区名	様子	
天竜川水系	沢川	東箕輪	天竜川にかかる橋の土手に点在。	
	大泉川	西箕輪・南箕輪	天竜川から大芝まで点在。大芝～大泉ダムまでは見られなかった。沢尻信号機周辺空き地に大群落。歩道わきに点在。	
	小黑川	西春近 小屋敷	道路沿いにわずか数株点在。	
		西春近 山本	水路沿いに数株点在。	
		西春近 小出一区	上の段の水路沿いに数株点在。	
		天竜川から 1km 以上	川沿いには両岸とも全く見られない。	
		天竜川から 300m～1km	南岸 西春近 上島 1～5m 範囲内の群落がまばらにある。北岸 西町 小黒 城南町 国道上にはほとんど見られない。城南町へ上がる新道土手に数株。	
		合流地～JR 南北両岸	堰堤沿いに中規模の群落が広がる。 JR 沿いの土手に塊が点在。	
		車屋～田原 北の城	堰堤の道路沿いを切れ目なく群落が続いている箇所が目立つ。	
		渡場(春近大橋北)	堰堤沿いにびっしり咲きほこる。河原は群落するところもある。	
		西春近 表木～下牧	堤防一面に大群落が広がり北の城橋まで続いていた。	
		東伊那	天竜川から 50m 程離れた車道沿いに点在。	
		下平	天竜川の堤防、中州に群落。天竜川から 100m 程離れた水田のあぜ道に点在。	
	中沢	竜東線沿いに点在。		
太田切川		天竜川との合流地点から上流 1km くらいまでの堤防に大群落。1km を過ぎたあたりで堤防では見られなくなるが、付近の駐車場や道路沿い等に点在。		
新宮川		天竜川との合流地点から 1km くらいまでの堤防に群落。周辺の車道にも点在。天竜川から 1km くらいを過ぎると見られなくなるが、5km ほど離れた山中の車道沿いに点在。		
三峰川水系		杉島～市野瀬	川沿いの生活道路わきに群落。河原にはない。	
		黒河内地区	道路わきに数株ある。	
		黒川	仙流荘付近の道路にはない。	
		高遠大橋～高遠小の下	河川沿いの土手に断続的に群落。。	
		山田河原～三峰川大橋	堰堤にはところどころの群落。河原にも群落。	
		清掃センター～榛原	堰堤にはところどころの群落。河原は小群落。	
		榛原～車屋	堰堤の道路沿いを切れ目なく群落が続いている。	
	藤沢川		合流地点付近には見られたが、それより上流には見られなかった。	
	新山川	三峰川合流地から 500m		三峰川内の砂地に小群落が見られる。清掃センター付近には見られない。
		合流地から 500m～3km 清掃センター付近		川沿いには全く見られなかった。新山小下の新しい道の土手に数株点在。工事関係で持ち込まれたと思われる。民家の庭先にわずかにあった。

※本研究では、対象植物が「目視でおよそ10㎡以上みられるものを群落」と定義している。

オオキンケイギク

黄色:分布を確認  
 灰色:分布が確認されなかった  
 色なし:未調査



<箕輪ダム管理事務所付近の道路法面>



<天竜川沿いの大群落>

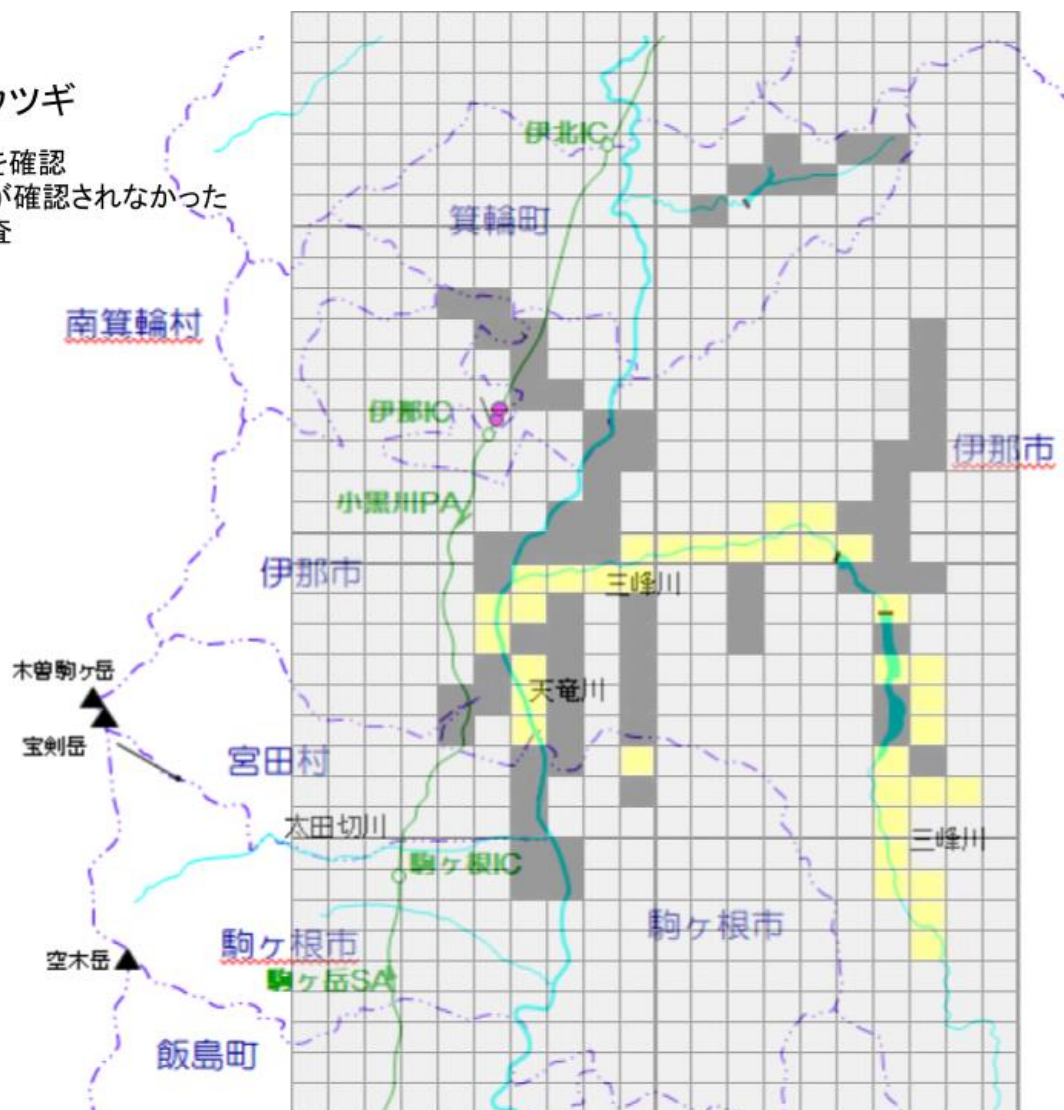
## (2)フサフジウツギ(ブッドレア)

水系	川名	地区名	様子
天竜川水系	沢川	東箕輪	全く見られない。
	大泉川	西箕輪・南箕輪	全く見られない。
	小黑川	西春近 小屋敷	全く見られない。
		西春近 山本	全く見られない。
		西春近 小出一区	全く見られない。
		天竜川から1km以上	全く見られない。
		天竜川から300m～1km	全く見られない。
		合流地～JR 南北両岸	全く見られない。
		車屋～田原 北の城	中州や岸の日当たりのいい部分に点在あるいは小群落。 個体は大きくない。
		渡場(春近大橋北)	小さい個体が点在。
		西春近 表木～下牧	全く見られない。
		東伊那	3m 近い大きな個体が2本存在。 近くに川はなくなぜあるのか不明。
		下平	全く見られない。
		中沢	全く見られない。
太田切川		全く見られない。	
新宮川		全く見られない。	
三峰川水系	杉島～市野瀬	川岸に点在または小群落。 杉島地区内は庭に育つ個体も存在した(植栽の可能性)。	
		黒川	旧道沿い、車道沿い、川沿いに群落。小さな個体が多数。中州にも点在しているが、花芽が切られている個体が多数。
	美和湖周辺	長谷総合グラウンドの南西側斜面の林に1株だけ生息。 国道152号線沿いにある民家の庭に点在。 美和湖芝生サッカー場付近の車道沿いに群落。 国道152号線と南アルプススーパー林道の合流地点付近の川沿い(両岸)に群落。	
		高遠大橋～高遠小の下	高遠大橋より上流に群落。望仙橋より下流には左岸に点在。
		山田河原～三峰川大橋	土手には数株。河原に帯状に群落。
	清掃センター～榛原	三峰川大橋下の河原に大群落。榛原まで小群落が点在。	
	榛原～車屋	榛原公園付近の中州に点在。一部、左岸の堤防付近にも確認。 竜東橋付近の中州一部、川の流れに沿って樹高3m程の個体が30mくらいにわたって線状に分布。	
	藤沢川		全く見られない。
	新山川	三峰川合流より上流	全く見られない。



## フサフジウツギ

黄色:分布を確認  
 灰色:分布が確認されなかった  
 色なし:未調査



<帯状に生育しているフサフジウツギ>

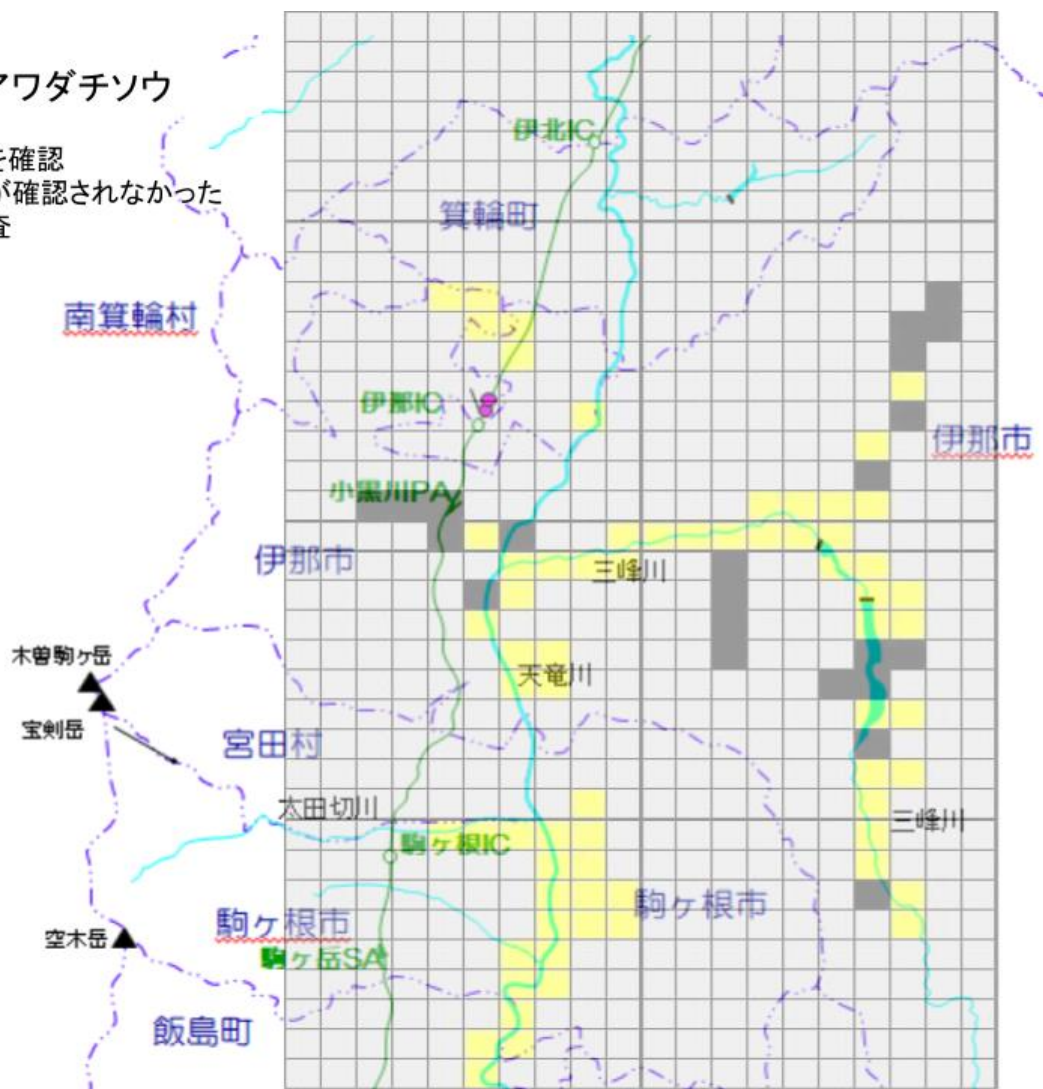
## (3) セイタカアワダチソウ

水系	川名	地区名	様子
天竜川水系	沢川	東箕輪	沢川と天竜川の合流付近東側に群落2カ所。
	大泉川	西箕輪・南箕輪	天竜川合流から大芝までは、セイタカアワダチソウの群落が
	小黒川	西春近 小屋敷～山本	153号から上方1km以内に群落が生息。河川工事の影響があるかも。さらに上は点在。
		西春近 小出一区	
		天竜川から300m～	
		合流地～JR南北両岸	
		車屋～田原 北の城	堤防の両側にすすきと混在して一部帯状の大きな群落がある。中州にやや大きな群落が数カ所。
		渡場(春近大橋北)	すすきと混在。すすきが優勢で小群落が多い。
		東伊那	耕作放棄地(空き地)、道路付近に群落が生息。
		下平	耕作放棄地(空き地)、道路付近に群落が生息。
中沢		天竜川堤防、耕作放棄地(空き地)、道路付近に群落が生息。吉瀬田切大橋付近には堤防上部にすすき、下部にセイタカアワダチソウの群落が見られる箇所があった。	
太田切川		空き地に群落が見られた。	
新宮川		道路や橋周辺の空き地に群落が見られた。	
三峰川水系		杉島～市野瀬・黒河内	すすきの群落多い。セイタカアワダチソウは数本。
		黒川	すすきの群落多い。セイタカアワダチソウは数本。
		美和湖周辺	すすきの群落多いが、セイタカアワダチソウはあっても数本。
		高遠大橋～高遠小の下	高遠大橋より上流～高遠ダム・高遠瑚にはない。大橋下の河
		山田河原～三峰川大橋	芦沢付近から河川敷の石が大きくなり、河川敷には見られな
		清掃センター～榛原	河川内は堤防近く、中州の端に群落があった。すすきと混在
	藤沢川		藤沢川の河原は、荒町～下町までアシ・ヨシが繁茂していて、すすきやセイタカアワダチソウはほとんど見られない。
	新山川	清掃センター付近三峰川合流地から500m	三峰川合流近くは群落がまばらにある。上流は小さい群落がわずかに存在。畑付近には似たような群落。
合流地から500m～3km			



### セイタカアワダチソウ

黄色:分布を確認  
 灰色:分布が確認されなかった  
 色なし:未調査



<堤防上部にススキ 下部にセイタカアワダチソウ>



<ススキの群落内にセイタカアワダチソウが点在>